

あーばんとーく

平成18年 4月号 (通巻 第104号)
発行: こうべまちづくりセンター
〒650-0022
神戸市中央区元町通4丁目2番14号
こうべまちづくり会館内
電話 078-361-4523 ・ Fax 078-361-4546
URL:<http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

まちセンこの1年

平成17年度は、震災から11年目を迎え、復興都市計画事業も多くの地区で収束してきました。

一方、新たにまちづくりに対する機運も出て、「まちづくり協議会」活動などが始まっています。こうべまちづくりセンターでは、このような住民主体のまちづくりへの支援や「こうべまちづくり学校」の開催、本紙「あーばんとーく」(毎月発行)などのまちづくり情報の発信も行っています。今月の「あーばんとーく」は、17年度のそうした活動の状況をご紹介します。

なお、4月からは「こうべまちづくり会館指定管理者」として、引き続き「こうべまちづくりセンター(財団法人神戸市都市整備公社)」が、会館の運営等を行うこととなりました。よろしくお願いいたします。

◆人材センターによる専門家派遣等

住民主体のまちづくりや、震災からの復興を支援するために、「専門家の派遣」や「まちづくり協議会への活動助成」を行ってきました。

17年度は、派遣49件、活動助成46地区となっています。

なお、このような活動を皆様に知っていただきたいと考え、5月11日(木)にコンサルタントによる報告会を開催する予定です(詳細は、4ページをご覧ください)。

◆地域活動合意形成支援事業(7-73077 隊の派遣)

ワークショップ・ファシリテーター(進行役、推進役)やスタッフの人的ネットワークの組織力を活かし、地域での円滑な合意形成を行うためのワークショップ運営のお手伝いとして、地域からの要請により「ワークショップ隊」を派遣しています。



17年度は、**灘区の新在家地区、兵庫区の今出在家地区**にワークショップ隊を派遣しました。

新在家地区では、まちの安全・安心について、まち歩きを行い、地区内の道路や交通について参加者で議論し、改善の目標づくりを行いました。

今出在家地区では、違法駐車撤去によりきれいになった新川運河沿いの道について、さらに魅力アップするためのアイデア出しを行い、防潮堤のアートペインティングなどに取り組んで行くことになりました。

17年度の派遣回数はこちら2地区で5回でした。

◆こうべまちづくり学校の開催

「こうべまちづくり学校」は、市民が主役の、安全で安心なまちづくりを進めるために、“協働と参画の



まちづくり”について、学び考える場となることを目指しています。

まちづくりに対する関心を高め、まちづくり

をより多くの方が理解し、地域のまちづくりを担っていただくために、幅広い層の市民の方を対象に、総合的でわかりやすい内容としています。

学校は、「基礎講座」と、各分野に分かれてまちづくりについてより深く学んでいただく「専修講座」があります。専修講座では、各コースごとに小グループでの共同作業や、実際にまちに出て観察や調査をする等特色のある運営を行っています。



まちづくり学校は、基礎講座と専修講座2コースを修了されますと卒業となります。一般の学校と異なり、卒業されても再度受講していただくこともできます。

4年目を迎えた17年度は、初めての試みとして卒業生を対象に**特別講座**を開催しました。テーマは広報紙作りで、専修講座のFコース(まち歩き)などの行事取材しました。

17年度は、26名が卒業されました(うち3名は、2度目の卒業生です)。

・基礎講座

内容	修了者/参加者
神戸のまちの歴史/神戸のまちなみ 景観/市民が創る安全・安心～神戸 市を考えよう～/わがまちを育む /NPOとまちづくり	64名/75名

・専修講座

コース名	修了者/参加者
A:地域活動「ちえぶくら」 の活用講座	25名/32名
B:「安全で安心なまちをつくる」 防災・防犯コース	49名/64名
C:「安全で安心なまちをつくる」 コミュニティづくりコース	25名/37名
D:まちなみゼミ	25名/42名
E:まちづくりゼミ ～地域からのまちづくり～	20名/38名
F:まち歩き実践ゼミ ～西国街道まわり道～	34名/48名
G:まちに刻まれた土木を訪ねる	10名/28名

・特別講座

テーマ	修了者/参加者
広報紙を作ろう	14名/15名

◆協働のまちづくり「これまでとこれから」

震災10年神戸からの発信事業の一環として、復興まちづくりに関わった人々の経験を知り、復興まちづくりの進み具合を検証し、新たなまちづくりの取り組みを進めている地域の実情について広く発信し、それらを今後のまちづくりに活かしていくため、**まち歩き**や**シンポジウム**等を開催しました。

・復興まちづくりウォーク「みるしるウォーク」



まちの復興状況や、地域の復興への取り組み状況を体感するまち歩きで参加者は延べ237名となりました。

開催日	場所
7月 2日(土)	商業と観光地の復興を知る 港神戸のハイカラ気質を育てた北野から旧居留地界隈まで歩きました。(中央区)
7月23日(土)	東神戸の水をたどって 旧商船大学や酒蔵など「水」に関わる施設とまちの復興の取り組みをたどりました。(東灘区)
9月10日(土)	復興のまち長田・古今横断 源平の歴史の舞台であり、職や食のまちでもある長田のまちの古今を横断しました。(長田区)
10月 2日(日)	下町の住まい再建 地域の個性や人と人、人と町のつながりを尊重し、進められた復興のまちを巡りました。(兵庫区)
10月22日(土)	人と動物の復興物語 再開発・区画整理で新しくなったまちと震災時の動物園の人や動物たちの苦労も学びました。(灘区)
11月12日(土)	秋の休日須磨の山、海、歴史めぐり 旗振山より神戸を西から東まで見渡し、須磨寺、智慧の道を抜け、水族園へ。歴史や震災時の話を聞きながら歩きました。(須磨区)

・まちづくり協議会活動関連事業



協議会の役員さんを中心に今後のまちづくりのあり方を考えるワークショップを開催しました（9/10・18名参加）。

また、協議会活動等を紹介するパネル展（9/17～18）と会場周辺の町の魅力を親子で探す「まちかどウォーク」を、六甲道駅南地区のまち開き（9/17～18）に併せて行いました（9/17・38家族参加）。

・復興シンポジウム



震災復興のまちづくり、そのうちとりわけ市民活動の実践例を素材に、今後の「協働のまちづくり」を考える復興シンポジウムを都市計画

学会と共催しました（9/7・153名参加）。

・その他の震災復興関連として、12月3日に日本地理学会の例会が「阪神・淡路大震災復興10年—その軌跡の検証—」をテーマとして当館で開催されました。

◆神戸の地盤データベースの運用

神戸市内の地盤のデータベース「神戸 JIBANKUN」の維持管理を同運営委員会事務局として行っており、当館3階で一般公開もしています。

◆まちづくりセンター・研究ネットワーク

同ネットワークは、こうべまちづくりセンターの調査研究機能の一環として、平成15年8月に10の研究グループの参加をもって発足しました。その後参加グループも増え、現在18グループ*となっています。会館を定例会場として利用する団体もあり、活発に活動をしています。

※参加グループ（平成18年3月現在）

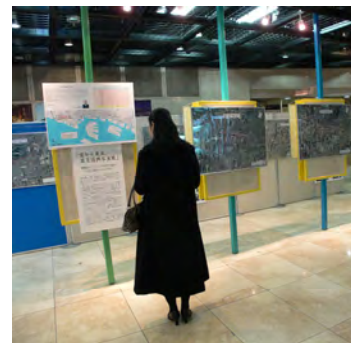
再開発研究会/神戸コンパクトシティ研究会/西神ニュータウン研究会/ワークショップ研究会/まちづくり法制研究会/Students Partnership Network/地域経済復興研究会（阪神大震災復興市民まちづくり支援ネットワーク）/水谷ゼミナール/台湾まちづくり研究会/プランナーズネットワーク神戸/空間像研究会/まちづくりアーカイブズ研究会/住宅再建・被災地復興システム研究会/マン

ション復興戦略研究会/神戸防災技術者の会（K-TEC）/（仮称）都市基盤整備研究会/NPO 法人都市災害に備える技術者の会/いきいき下町まちづくり調査部会

まちづくり会館をご利用ください

まちづくり会館は、住民主体のまちづくりを進める拠点施設として、まちづくり学校等のまちづくりに関する行事を行うとともに、地域でまちづくりに携わる方々の身近な施設として、図書や行政資料の提供（4階図書室）やまちづくりの相談（3階すまい・まちづくり人材センター）などにご利用いただいています。

なお当館には、会議室、ホールやギャラリーがあり一般の方々、美術愛好家の方々にご利用をいただくとともに、ギャラリーでは、年に数回、当館の企画展も開催しており、17年度は市立博物館の協力を得て「別車博資水彩画展」を開催し、ご好評をいただきました。



また会館1階のオープンギャラリーは、市政に関するリーフレットの配布、紹介といった広報活動やまちづくり関係の展示等も行っております。

お蔭様でこの1月には、開館以来の来館者が100万人を超えました。また、17年度の来館者は約10万9千人となりました。今後とも利用しやすい館の運営に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

平成17年度（17年4月～18年3月）の利用

まちづくり会館の利用施設	利用者数
会議室	3,300名
ホール	6,929名
ギャラリー	25,171名
オープンギャラリー・図書室等	73,390名
計	108,790名

神戸市からのお知らせ

このからのまちづくりにおいて ～用途地域を見直します。～

高層建築物の立地に伴う周辺の住環境や景観との調和の問題、商店街の活力低下など、様々なまちづくりの課題に対応し、安全で安心なまちづくり、地域特性を活かした魅力あるまちづくりを進めるために、以下の視点で用途地域を見直します。また、高度地区、防火地域等の地域地区を併せて見直します。

用途地域とは？

建物には住宅や店舗、工場など、様々な使いみちがあります。「用途地域」とはこれらの建物が、まちの中に無秩序に混在するのを防ぐなど、良好なまちをつくるために、お互いを守るべきルールを定める都市計画の制度です。

<見直しの視点>

- ・住宅地における建物の用途や形態の混在を防止し、住環境の保全や景観との調和を図ります。
- ・土地利用転換に伴う建物用途の混在を防止し、適正な土地利用を誘導します。
- ・基盤整備に応じて、駅周辺地域等の活性化を図ります。
- ・用途地域等の規制に併せて、地区計画を活用したまちづくりを誘導します。

◇今後の予定◇

用途地域の見直し素案を近く公表する予定です。その後、説明会の開催や相談所の開設等により、市民のみなさんのご意見をお聞かせいただき、平成18年度の都市計画の変更手続きを進めていきます。

問い合わせは

神戸市都市計画総局計画部計画課 土地利用係 電話078-322-5480

まちづくりセンターからのお知らせ

まちづくりコンサルタント報告会

こうべまちづくりセンターの事業の一つとして、まちづくり協議会等にアドバイザーやコンサルタントの派遣を行っています。今回、各地域のまちづくりを支援しているコンサルタントによる「まちづくりや建物共同化」など、まちづくりの現場からの報告会を行います。

地域でまちづくりを行っている方にとっては、参考になることも多いと思います。興味のある方は、事前の申込みは不要ですのでお気軽にお越しください。

日時 平成18年5月11日(木) 午後1時～5時30分

場所 こうべまちづくり会館 2階ホール

お問い合わせは、こうべまちづくりセンター(電話361-4523)まで

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの展示

期間	内容・テーマ	主催者
4月 1日(土)～ 30日(日)	景観ポイント賞パネル展	都市計画総局地域支援室

地階ギャラリーの予定

4月20日(木)～ 25日(火)	いくた15人展(油彩)	いくた15人会
4月27日(木)～5月2日(火)	丹水会展(水彩)	丹水会
5月 4日(木)～ 9日(火)	春の企画展 元町の芸術家たち(油彩水彩他)	元町商店街連合会 まちづくりセンター
5月11日(木)～ 16日(火)	第51回木曜会作品展(油彩水彩)	木曜会
5月18日(木)～ 23日(火)	木彩会洋画作品展(油彩水彩)	木彩会